

# 令和5年度事業報告書

令和5年度は、「進化し続ける未来創造港湾」を基本理念とした「東京港第9次改訂港湾計画」の策定や外国クルーズ客船の東京港寄港が再開されたことにより寄港数が大幅に増加するなど、東京港にとって重要な進展があった。

また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことに伴い、社会経済活動の回復がさらに進み、日常生活もコロナ禍以前の状態とほぼ同様となった。

このような状況下において、当協会では、東京港振興使節団の国外への派遣が見送られたものの、東京みなと祭を4年ぶりに参加体験型のイベントとして開催したのをはじめ、東京クルーズセミナーを5年ぶりに対面方式で開催したほか、バスや船を利用した東京港見学会や夜景観賞ツアー、「東京港のつどい」などをコロナ禍以前と同様の事業内容によって実施した。

一方で、昨年度に引き続き事業説明会をWEB配信により実施するなど、より効果的な事業実施に努めた。

さらに、新たな取り組みとして、東京港の認知度の向上や次世代を担う子どもに向けた広報の重要性を踏まえ、小学生を対象とした冊子「東京のみなとってどこにあるの？」を発行した。今後は、社会科見学船やTOKYOミナトリエでの校外学習などでの活用を通して広報の強化を図っていく。

また、収支の改善を図るため引き続き経費の削減に努めるとともに、協会の財政基盤の確立のための収益事業を実施した。

## 1. 港湾振興事業

### (1) 東京港振興促進協議会

平成26年1月に策定された「第4次アクションプラン」の課題実現に向け、東京港の物流機能の強化や安全の確保・危機管理、環境に配慮したみなとづくり、みなとの賑わいの創出などへの取り組みを進めた。

### (2) 船舶貨物誘致活動の推進

国外でのポートセールス活動の実施に向けた東京港振興使節団の派遣について、国内外の状況を勘案し派遣時期などについて改めて検討を行った結果、令和5年度の使節団の派遣を見送ることとなった。

### (3) 客船誘致活動の推進

#### ① 入出港歓送迎行事等の実施

東京港初入港となる「スターブリーズ」、「シーニック・エクリプス」、「パシフィ

ック・ワールド」、「コーラル・アドベンチャー」、「カーニバル・ルミノーザ」、「ノルウェー・ジャン・ジュエル」、「レガッタ」、「ザイデルダム」、「MSC ベリッシマ」、「アイーダベラ」、「クイーン・エリザベス」、「シルバー・ムーン」をはじめとする外国クルーズ客船に対して延べ38回の入出港歓送迎行事を行い、観光インフォメーションカウンターの開設や歓送迎演奏の実施、記念楯の贈呈などの活動を行った。

また、「全国クルーズ客船誘致受入連絡会」に参加し、今後の客船の動向など効果的な受け入れのための情報収集を行った。

#### ② 東京クルーズセミナーの開催

東京都のクルーズ客船誘致に対する取組みを周知し、東京港周辺及び伊豆・小笠原諸島の観光などについての最新情報を提供するとともに、東京港への要望などについてヒアリングを行うため、クルーズ客船運航事業者や船舶代理店、旅行会社などの業界関係者を対象とした東京クルーズセミナーを5年ぶりに開催した。

セミナーでは、株式会社商船三井クルーズ事業革新プロジェクトユニットシニアエグゼクティブアドバイザー アンソニー・カウフマン氏による基調講演を行った。

開催日 令和6年1月15日

開催場所 帝国ホテル

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約60名

#### ③ 東京クルーズ客船プロジェクトチームへの参加

「全国クルーズ客船誘致受入連絡会」に参画し、今後の客船の動向など効果的な受け入れのための情報を収集した。

### (4) 荷主などとの懇談会の開催

東京港の利用促進に向けた取組みとして、荷主などの意見・要望を把握し、新たな施策展開に向けた検討に資するため「東京港のつどい」を開催した。

なお、今年度は、2024年問題に対する東京都の施策の周知を図るため、荷主企業を数多く招待するなど例年より規模を拡大して実施した。

東京港セミナーとして、東京都港湾局による交通混雑への対応や東京港の機能強化、カーボンニュートラル推進に向けた取組みの紹介のほか、株式会社クボタ物流統括部担当部長 武山 義知氏によるCRU/ICDの有効活用と東京港湾エリアの物流効率化について、オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン株式会社取締役専務執行役員 戸田潤氏によるコンテナ物流とONEの取り組みについての講演を行った。

開催日 令和6年2月8日

開催場所 帝国ホテル

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約500名

## (5) 都民を対象とした東京港などの見学会の実施

### ① 社会科見学船による東京港案内

東京都との共同事業として、船の提供は都が、募集・案内業務は当協会が担当し、都内の小学4年生から6年生及び中学生を対象に、海上バスによる東京港案内を実施し、東京港の役割や都民生活とのかかわりなどを説明した。

79航海、98団体、5,907名の乗船者に対して案内を実施した。

### ② 東京港夜景観賞ツアー

広く都民に東京港の魅力をPRするため、公募により参加者を募集し、普段は見る機会の少ない東京港の夜景をTOKYOミナトリエ及び水上バスから観賞するツアーを実施した。

実施日 令和5年11月29日

参加者 163名（応募倍率194倍）

## (6) 東京港及び臨海副都心の観光案内事業の実施

日の出ふ頭海上バス発着所に観光案内掲示板及びパンフレットスタンドなどを設置し、各種博物館などの施設案内や港湾局事業をはじめとする東京都のお知らせやイベントなどの情報提供に努めた。

## (7) 冊子「東京のみなとってどこにあるの？」の発行

当協会ではかねてより、東京港の果たしている役割や機能について周知するため、各種見学会などを通じて広く広報、PRに取り組んできた。しかしながら、東京港の発展の沿革などから、今もなお十分に認知されているとは言い難い状況にある。

また、近年では、人材確保の観点から、特に次代を担う子どもに向けた広報の重要性が高まっている。

こうした状況を踏まえ、新たな取り組みとして、東京都港湾局の監修のもと、関係団体などにご協力をいただき、小学生を対象として、まずは「東京のみなと」である東京港を知っていただき、さらに東京港の果たしている役割、港の仕組みなどについて興味を持ちつつ、わかり易く学んでいただける冊子「東京のみなとってどこにあるの？」を発行した。

今後は、本冊子を社会科見学船事業やTOKYOミナトリエでの校外学習などで配布するほか、会員企業・団体における見学会やイベントなどで活用していただき、東京港の広報、PRを強化していく。

## 2. 情報提供等事業

### (1) 会誌「東京港」及び東京港関係資料などの発行・配布・販売

#### ① 会誌「東京港」（年4回発行）

- ② 「東京港ハンドブック」 (和文・英文)
- ③ 「東京港便覧」

## (2) 会員を対象とした東京港などの見学会の開催

### ① 会員向け東京港見学会・研修会

船やバスなどを利用し、東京港の現状を直接見ていただくとともに、会員企業・団体の新規採用者研修などの業務研修として活用していただくための東京港の見学会・研修会を実施した。

(ア) バスによる東京港研修・見学会 (4月11日、13日)      合計 65名参加

(イ) 船による東京港見学会 (12月5日、8日、22日)      合計102名参加

### ② 東京港夜景見学会

東京港の夜景をTOKYOミナトリエ及び水上バスから観賞する見学会を実施した。  
なお、臨海副都心の夜景についてもPRできることから、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会と合同で実施し、参加者の拡充を図った。

実施日 11月8日

参加者 152名

## (3) 東京都港湾局等事業説明会及び講演会

WEBによるビデオ配信として開催した。

### <事業説明会>

#### ① 「令和5年度 東京都港湾局事業について」

東京都港湾局総務部企画計理課長      佐々木 康隆 氏

#### ② 「令和5年度 東京港埠頭株式会社事業について」

東京港埠頭株式会社総務部経理課長      古川 建治 氏

### <講演会>

「東京港を巡る最近の話題」

東京都港湾局技監      片寄 光彦 氏

配信期間      事業説明会      4月17日～5月12日

講演会      6月26日～7月21日

総視聴回数      423回

## (4) 東京都港湾整備振興大会の開催

東京港及び島しょ港湾の整備振興には国などに対する働きかけが必要不可欠であることから、会員に対し書面により提案し、大多数の賛同を得て採択された「東京都の港湾・海岸整備の振興に対する要望に関する決議文」をもって関係機関に対して要望活動を行った。

#### (5) 東京港第9次改訂港湾計画説明会の開催

東京都により東京港第9次改訂港湾計画が策定されたことを受け、会員を対象とした計画の内容についての説明会をWEBによるビデオ配信として開催した。

講師 東京都港湾局港湾整備部計画課長 佐竹 禎司 氏

配信期間 11月20日～12月22日

総視聴回数 270回

### 3. 東京みなと祭事業

東京みなと祭協議会の事務局として、5月20日、21日の両日に、4年ぶりに参加体験型のイベントとして東京国際クルーズターミナルを会場に第74回東京みなと祭を開催した。

東京港に関するPRブースを出展した「見て！ふれて！東京港」をはじめ、珍しい船の一般公開や冷凍コンテナ体験、謎解きクイズラリー、ポートステージなどのイベントを展開したほか、体験乗船会など東京港のPRを一層図る多彩な行事を実施した。

また、共催行事として東京ドラゴンボート大会を実施した。

来場者は25,000人にのぼった。

5月18日には東京港開港記念行事として、東京港港湾功労者表彰式を芝浦サービスセンターにおいて開催し、港湾功労者16名に対し都知事感謝状と記念品を贈呈した。

表彰式に引き続き、東京港開港記念祝賀会実行委員会事務局として4年ぶりに対面方式で東京港開港記念祝賀会を開催し、240名の出席者があった。

### 4. 広報関連受託事業

東京都から委託を受けて、次の事業を東京港PR活動として実施した。

#### (1) 初入港船等の歓送迎

初入港船、外国クルーズ客船、コンテナ船などに歓送迎演奏や記念楯の贈呈などの歓送迎行事を54回実施した。

また、外国クルーズ客船については、英文等のガイドマップを乗客、乗員に配布し、東京国際クルーズターミナル内にて観光ボランティアを活用した観光インフォメーションカウンターを開設するなど乗客、乗員に対するサービスの向上に努めた。

#### (2) 視察船による東京港案内

国内の港湾関係者のほか、広く都民を対象に、視察船による東京港案内を実施し、東京

港の将来計画や各種港湾施設の説明を通じ、東京港の機能や都民生活とのかかわりなどの理解を図った。

116航海、2,579名に対して案内を実施した。

## 5. 東京臨海部広報展示室事業

来室者への展示案内に積極的に取組むとともに、集客を図るため、次のとおり特別企画展を実施した。

### ○ 晴海客船ターミナル写真展

令和4年2月20日に閉鎖された晴海客船ターミナルのこれまでを、クルーズ客船の歓送迎セレモニーや東京みなと祭での賑わい、建設途中の様子などの写真パネルとスライド映像で紹介

開催期間 令和6年3月27日～6月4日

### ○ 工事見える化展

東京港で日々行われている様々な工事の中から、浚渫工事や東京国際クルーズふ頭の整備工事、旧晴海鉄道橋の遊歩道化などについて、パネルや模型、映像により「見える化」して紹介

開催期間 令和5年6月6日～7月23日

### ○ ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞入賞作品展

全国の小学生・中学生・高校生を対象に、海事産業の重要性を理解してもらうことを目的として開催されている「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」（主催 公益財団法人日本海事広報協会）の2022年度の入賞作品展

開催期間 令和5年7月25日～9月24日

### ○ 第4回海上公園フォトコンテスト受賞作品展

東京港埠頭株式会社様のご協力をいただき、同社が主催のお台場エリア周辺の海上公園を対象公園としたフォトコンテストの最優秀賞などの受賞作品展と海上公園の魅力を紹介するパネル展

開催期間 令和5年7月25日～9月24日

### ○ 商船模型同好会作品展

商船模型同好会の会員が発行した作品15点を展示

開催期間 令和5年9月26日～令和6年1月28日

### ○ 工事の見える化展

東京港で日々行われている様々な工事の中から、浚渫工事や旧晴海鉄道橋の遊歩道化、ブルーカーボンなどについて、パネルや模型、映像により「見える化」して紹介

開催期間 令和6年1月30日～令和6年3月24日

令和5年度の入室者数は21,001名であった。

## 6. 収益事業

当協会が設置した駐車場、自動販売機などの営業活動を実施するとともに、「東京港ハンドブック」「東京港便覧」などの東京港関係資料の販売を行った。

## 7. 会員の異動状況

### (1) 新規入会申し込み会員

入会年月日	級別	会員名	代表者 役職氏名	所在地	主な業務内容
5.6.20	4級	株式会社 マリタイムデー リーニュース社	代表取締役 高妻 秀聡	千代田区岩本町 3-1-7	新聞発行
5.11.24	4級	イーキューワー ルドワイド 株式会社	代表取締役 長谷川 政幸	中央区日本橋本町 3-2-13 アドバンテック日 本橋ビル3階	貨物利用運送事業、 海運業、海運仲立業、 海上輸送代理店業、 航空運送代理店業、 損害保険代理店業、 上記に付帯する一切

法人 2社

令和5年度第3回理事会（令和6年3月15日開催）にて承認

### (2) 退会会員

法人 3社

### (3) 会員数

300社（令和6年6月1日現在）